

過疎地域持続的発展計画市町村計画 新旧対照表

変更箇所 (変更後計画 の頁、行等)	変更後	変更前	備考
<p>1 基本的な 事項</p> <p>本文 1 頁 44 行目、 本文 2 頁 1 行目</p>	<p>エ 経済的概要</p> <p>昭和 50 年の国勢調査における産業構造は、第 1 次産業が 68.5%、第 2 次産業が 16.3%、第 3 次産業が 15.2%と第 1 次産業就業者の割合が圧倒的であり、農地、山林等が混在する立地条件の中で、稲作を基幹に野菜、葉たばこ、花卉、畜産及び林業等を組み合わせた複合経営によって営まれていた。しかし、急速な経済構造の変化と農業従事者の高齢化や担い手不足などによる農業離れが進み、平成 27 年の国勢調査では、第 1 次産業が 16.2%<u>になり令和 2 年の国勢調査では、第 1 次産業が 17.5%となった。</u></p>	<p>エ 経済的概要</p> <p>昭和 50 年の国勢調査における産業構造は、第 1 次産業が 68.5%、第 2 次産業が 16.3%、第 3 次産業が 15.2%と第 1 次産業就業者の割合が圧倒的であり、農地、山林等が混在する立地条件の中で、稲作を基幹に野菜、葉たばこ、花卉、畜産及び林業等を組み合わせた複合経営によって営まれていた。しかし、急速な経済構造の変化と農業従事者の高齢化や担い手不足などによる農業離れが進み、平成 27 年の国勢調査では、第 1 次産業が 16.2%<u>まで減少した。</u></p>	<p>追加</p>
<p>1 基本的な 事項</p> <p>本文 2 頁 22 行目、 25 行目～26 行目、 29 行目～31 行目</p>	<p>ア 人口の動向</p> <p>国勢調査にみる本村の人口は、昭和 30 年の 10,752 人をピークに平成 27 年までの 60 年間で 39.5%の減少、<u>令和 2 年までの 65 年間で 45.8%の減少</u>となっており、この間、高度経済成長期における若年層の村外流出や進学率の高まり、少子化が要因であると考えられる。昭和 50 年 (8,825 人) から平成 27 年 (6,505 人) までの 40 年間でみても人口減少率が 26.3% (2,320 人減)、<u>令和 2 年 (5,826 人) までの 45 年間でみても人口減少率が 34.0% (2,999 人減)</u>と減少傾向に歯止めが掛からないのが現状である。</p> <p>イ 世帯の動向</p> <p>世帯については、昭和 50 年 (1,820 世帯) と平成 27 年 (1,989 世帯) を比較すると増加しているものの、1 世帯あたりの人員は <u>4.8 人から 3.3 人と減少、昭和 50 年 (1,820 世帯) と令和 2 年 (1,953 世帯) を比較すると増加しているものの、1 世帯あたりの人員は 4.8 人から 3.0 人と更に減少</u>しており、核家族化、若年層の村外流出等による社会減と、出生率低下等の自然減によるものである。</p>	<p>ア 人口の動向</p> <p>国勢調査にみる本村の人口は、昭和 30 年の 10,752 人をピークに平成 27 年までの 60 年間で 39.5%の減少<u>となっており、この間、高度経済成長期における若年層の村外流出や進学率の高まり、少子化が要因であると考えられる。昭和 50 年 (8,825 人) から平成 27 年 (6,505 人) までの 40 年間でみても人口減少率が 26.3% (2,320 人減)</u><u>と減少傾向に歯止めが掛からないのが現状である。</u></p> <p>イ 世帯の動向</p> <p>世帯については、昭和 50 年 (1,820 世帯) と平成 27 年 (1,989 世帯) を比較すると増加しているものの、1 世帯あたりの人員は <u>5.2 人から 3.3 人と減少</u><u>減少しており、核家族化、若年層の村外流出等による社会減と、出生率低下等の自然減によるものである。</u></p>	<p>追加</p> <p>追加</p> <p>訂正・追加</p>

<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 3 頁 6 行目～7 行目、 16 行目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 年度</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> <th>1 世帯当り人員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 30 年</td> <td>10,752</td> <td>1,727</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>昭和 45 年</td> <td>9,359</td> <td>1,814</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>昭和 50 年</td> <td>8,825</td> <td>1,820</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年</td> <td>5,826</td> <td>1,953</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分 年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1 世帯当り人員 (人)	昭和 30 年	10,752	1,727	6.2	昭和 45 年	9,359	1,814	5.2	昭和 50 年	8,825	1,820	4.8	令和 2 年	5,826	1,953	3.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 年度</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> <th>1 世帯当り人員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 30 年</td> <td>10,752</td> <td>1,727</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>昭和 45 年</td> <td>9,359</td> <td>1,814</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>昭和 50 年</td> <td>8,825</td> <td>1,820</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分 年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1 世帯当り人員 (人)	昭和 30 年	10,752	1,727	6.2	昭和 45 年	9,359	1,814	5.5	昭和 50 年	8,825	1,820	5.2					<p>訂正 訂正 追加</p>
区分 年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1 世帯当り人員 (人)																																								
昭和 30 年	10,752	1,727	6.2																																								
昭和 45 年	9,359	1,814	5.2																																								
昭和 50 年	8,825	1,820	4.8																																								
令和 2 年	5,826	1,953	3.0																																								
区分 年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1 世帯当り人員 (人)																																								
昭和 30 年	10,752	1,727	6.2																																								
昭和 45 年	9,359	1,814	5.5																																								
昭和 50 年	8,825	1,820	5.2																																								
<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 3 頁 20 行目、 22 行目、 29 行目</p>	<p>ウ 産業別の動向 (ア) 産業構造の変化 本村の就業者数は昭和 50 年 (4,684 人) から平成 27 年 (3,508 人) までの間に 25.1% (1,176 人) 減少、<u>令和 2 年 (3,279 人) までに 30.0% (1,405 人) 減少</u>している。また、就業人口の構成比を見ると、本村の中核的産業だった第 1 次産業が昭和 50 年には 68.5% だったものが平成 27 年には 16.2%、<u>令和 2 年には 17.5%</u>と大きく減少し、第 1 次産業から第 2 次、第 3 次産業にシフトしており、農林業の担い手不足が問題となっている。</p> <p>(イ) 地域の経済的な立地特性 本村は、福島県の阿武隈山系に位置し、産業都市いわき市と経済都市郡山市と接している。 基幹産業である農業は水田、畑作や畜産の複合的な農業経営が盛んで、これらの農林産物を活用し安全で安心な農林業の振興を図る必要がある。さらに<u>あぶくま高原道路</u>を活用し、関東圏や仙台圏まで 2 時間程度でアクセスすることができる立地条件を活かし地元農林産物を活かした食関連企業の誘致が今後必要である。</p>	<p>ウ 産業別の動向 (ア) 産業構造の変化 本村の就業者数は昭和 50 年 (4,684 人) から平成 27 年 (3,508 人) までの間に 25.1% (1,176 人) 減少 <u>_____</u>している。また、就業人口の構成比を見ると、本村の中核的産業だった第 1 次産業が昭和 50 年には 68.5% だったものが平成 27 年には 16.2% <u>_____</u>と大きく減少し、第 1 次産業から第 2 次、第 3 次産業にシフトしており、農林業の担い手不足が問題となっている。</p> <p>(イ) 地域の経済的な立 本村は、福島県の阿武隈山系に位置し、産業都市いわき市と経済都市郡山市と接している。 基幹産業である農業は水田、畑作や畜産の複合的な農業経営が盛んで、これらの農林産物を活用し安全で安心な農林業の振興を図る必要がある。さらに<u>あぶくま高原自動車道</u>を活用し、関東圏や仙台圏まで 2 時間程度でアクセスすることができる立地条件を活かし地元農林産物を活かした食関連企業の誘致が今後必要である。</p>	<p>追加  追加  文言訂正</p>																																								

<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 4 頁 28 行目～40 行目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和 2 年</th> </tr> <tr> <th>実数</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>人 5,826</td> <td>% △10.4</td> </tr> <tr> <td>0 歳～14 歳</td> <td>584</td> <td>△22.3</td> </tr> <tr> <td>15 歳～64 歳</td> <td>3,179</td> <td>△16.8</td> </tr> <tr> <td>うち 15 歳～29 歳 (a)</td> <td>624</td> <td>△24.5</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上 (b)</td> <td>2,057</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>(a) / 総数 若年者比率</td> <td>% 10.7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(b) / 総数 高齢者比率</td> <td>% 35.3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年		実数	増減率	総数	人 5,826	% △10.4	0 歳～14 歳	584	△22.3	15 歳～64 歳	3,179	△16.8	うち 15 歳～29 歳 (a)	624	△24.5	65 歳以上 (b)	2,057	6.6	(a) / 総数 若年者比率	% 10.7	—	(b) / 総数 高齢者比率	% 35.3	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">令和 2 年</th> </tr> <tr> <td></td> <td>実数</td> <td>増減率</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>0 歳～14 歳</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>15 歳～64 歳</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>うち 15 歳～29 歳 (a)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上 (b)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(a) / 総数 若年者比率</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(b) / 総数 高齢者比率</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年			実数	増減率	総数	—	—	0 歳～14 歳	—	—	15 歳～64 歳	—	—	うち 15 歳～29 歳 (a)	—	—	65 歳以上 (b)	—	—	(a) / 総数 若年者比率	—	—	(b) / 総数 高齢者比率	—	—	追加						
区分	令和 2 年																																																													
	実数	増減率																																																												
総数	人 5,826	% △10.4																																																												
0 歳～14 歳	584	△22.3																																																												
15 歳～64 歳	3,179	△16.8																																																												
うち 15 歳～29 歳 (a)	624	△24.5																																																												
65 歳以上 (b)	2,057	6.6																																																												
(a) / 総数 若年者比率	% 10.7	—																																																												
(b) / 総数 高齢者比率	% 35.3	—																																																												
区分	令和 2 年																																																													
	実数	増減率																																																												
総数	—	—																																																												
0 歳～14 歳	—	—																																																												
15 歳～64 歳	—	—																																																												
うち 15 歳～29 歳 (a)	—	—																																																												
65 歳以上 (b)	—	—																																																												
(a) / 総数 若年者比率	—	—																																																												
(b) / 総数 高齢者比率	—	—																																																												
<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 5 頁 12 行目～16 行目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和 2 年 3 月 31 日</th> </tr> <tr> <th>実数</th> <th>構成比</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>5,972</td> <td>—</td> <td>△9.6%</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>3,015</td> <td>50.5%</td> <td>△8.9%</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2,957</td> <td>49.5%</td> <td>△10.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年 3 月 31 日			実数	構成比	増減率	総数	5,972	—	△9.6%	男	3,015	50.5%	△8.9%	女	2,957	49.5%	△10.3%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">令和 2 年 3 月 31 日</th> </tr> <tr> <td></td> <td>実数</td> <td>構成比</td> <td>増減率</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年 3 月 31 日				実数	構成比	増減率	総数	—	—	—	男	—	—	—	女	—	—	—	追加																				
区分	令和 2 年 3 月 31 日																																																													
	実数	構成比	増減率																																																											
総数	5,972	—	△9.6%																																																											
男	3,015	50.5%	△8.9%																																																											
女	2,957	49.5%	△10.3%																																																											
区分	令和 2 年 3 月 31 日																																																													
	実数	構成比	増減率																																																											
総数	—	—	—																																																											
男	—	—	—																																																											
女	—	—	—																																																											
<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 5 頁 24 行目～30 行目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和 2 年 3 月 31 日</th> </tr> <tr> <th>実数</th> <th>構成比</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数(外国人住民除く)</td> <td>5,832</td> <td>—</td> <td>△10.4%</td> </tr> <tr> <td>男(外国人住民除く)</td> <td>2,940</td> <td>50.4%</td> <td>△10.2%</td> </tr> <tr> <td>女(外国人住民除く)</td> <td>2,892</td> <td>49.6%</td> <td>△10.6%</td> </tr> <tr> <td>参考</td> <td>男(外国人住民)</td> <td>75</td> <td>1.3%</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td>考</td> <td>女(外国人住民)</td> <td>65</td> <td>1.1%</td> <td>6.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年 3 月 31 日			実数	構成比	増減率	総数(外国人住民除く)	5,832	—	△10.4%	男(外国人住民除く)	2,940	50.4%	△10.2%	女(外国人住民除く)	2,892	49.6%	△10.6%	参考	男(外国人住民)	75	1.3%	114.3%	考	女(外国人住民)	65	1.1%	6.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">令和 2 年 3 月 31 日</th> </tr> <tr> <td></td> <td>実数</td> <td>構成比</td> <td>増減率</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数(外国人住民除く)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>男(外国人住民除く)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>女(外国人住民除く)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>参考</td> <td>男(外国人住民)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>考</td> <td>女(外国人住民)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年 3 月 31 日				実数	構成比	増減率	総数(外国人住民除く)	—	—	—	男(外国人住民除く)	—	—	—	女(外国人住民除く)	—	—	—	参考	男(外国人住民)	—	—	—	考	女(外国人住民)	—	—	—	追加
区分	令和 2 年 3 月 31 日																																																													
	実数	構成比	増減率																																																											
総数(外国人住民除く)	5,832	—	△10.4%																																																											
男(外国人住民除く)	2,940	50.4%	△10.2%																																																											
女(外国人住民除く)	2,892	49.6%	△10.6%																																																											
参考	男(外国人住民)	75	1.3%	114.3%																																																										
考	女(外国人住民)	65	1.1%	6.6%																																																										
区分	令和 2 年 3 月 31 日																																																													
	実数	構成比	増減率																																																											
総数(外国人住民除く)	—	—	—																																																											
男(外国人住民除く)	—	—	—																																																											
女(外国人住民除く)	—	—	—																																																											
参考	男(外国人住民)	—	—	—																																																										
考	女(外国人住民)	—	—	—																																																										

<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 6 頁 12 行目～21 行目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和 2 年</th> </tr> <tr> <th>実数</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>人 <u>3,279</u></td> <td>% <u>△6.5</u></td> </tr> <tr> <td>第 1 次産業 就業人口比率</td> <td>% <u>17.5</u></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第 2 次産業 就業人口比率</td> <td>% <u>42.1</u></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第 3 次産業 就業人口比率</td> <td>% <u>40.4</u></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年		実数	増減率	総数	人 <u>3,279</u>	% <u>△6.5</u>	第 1 次産業 就業人口比率	% <u>17.5</u>	—	第 2 次産業 就業人口比率	% <u>42.1</u>	—	第 3 次産業 就業人口比率	% <u>40.4</u>	—	<table border="1"> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	追加																																												
区分	令和 2 年																																																																														
	実数	増減率																																																																													
総数	人 <u>3,279</u>	% <u>△6.5</u>																																																																													
第 1 次産業 就業人口比率	% <u>17.5</u>	—																																																																													
第 2 次産業 就業人口比率	% <u>42.1</u>	—																																																																													
第 3 次産業 就業人口比率	% <u>40.4</u>	—																																																																													
—	—	—																																																																													
—	—	—																																																																													
—	—	—																																																																													
—	—	—																																																																													
—	—	—																																																																													
<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 6 頁 41 行目</p>	<p>表 1-1 (4) 人口動態の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">自然動態</th> <th colspan="3">社会動態</th> <th rowspan="2">差引計</th> </tr> <tr> <th>出生</th> <th>死亡</th> <th>差引</th> <th>転入</th> <th>転出</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 60 年</td> <td>117</td> <td>88</td> <td>29</td> <td>282</td> <td>352</td> <td>-70</td> <td>-41</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年</td> <td>16</td> <td>88</td> <td>-72</td> <td>120</td> <td>180</td> <td>-60</td> <td>-132</td> </tr> <tr> <td><u>令和 3 年</u></td> <td><u>34</u></td> <td><u>93</u></td> <td><u>-59</u></td> <td><u>113</u></td> <td><u>200</u></td> <td><u>-87</u></td> <td><u>-146</u></td> </tr> </tbody> </table>		自然動態			社会動態			差引計	出生	死亡	差引	転入	転出	差引	昭和 60 年	117	88	29	282	352	-70	-41	令和 2 年	16	88	-72	120	180	-60	-132	<u>令和 3 年</u>	<u>34</u>	<u>93</u>	<u>-59</u>	<u>113</u>	<u>200</u>	<u>-87</u>	<u>-146</u>	<p>表 1-1 (4) 人口動態の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">自然動態</th> <th colspan="3">社会動態</th> <th rowspan="2">差引計</th> </tr> <tr> <th>出生</th> <th>死亡</th> <th>差引</th> <th>転入</th> <th>転出</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 60 年</td> <td>117</td> <td>88</td> <td>29</td> <td>282</td> <td>352</td> <td>-70</td> <td>-41</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年</td> <td>16</td> <td>88</td> <td>-72</td> <td>120</td> <td>180</td> <td>-60</td> <td>-132</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		自然動態			社会動態			差引計	出生	死亡	差引	転入	転出	差引	昭和 60 年	117	88	29	282	352	-70	-41	令和 2 年	16	88	-72	120	180	-60	-132	—	—	—	—	—	—	—	—	追加
	自然動態			社会動態			差引計																																																																								
	出生	死亡	差引	転入	転出	差引																																																																									
昭和 60 年	117	88	29	282	352	-70	-41																																																																								
令和 2 年	16	88	-72	120	180	-60	-132																																																																								
<u>令和 3 年</u>	<u>34</u>	<u>93</u>	<u>-59</u>	<u>113</u>	<u>200</u>	<u>-87</u>	<u>-146</u>																																																																								
	自然動態			社会動態			差引計																																																																								
	出生	死亡	差引	転入	転出	差引																																																																									
昭和 60 年	117	88	29	282	352	-70	-41																																																																								
令和 2 年	16	88	-72	120	180	-60	-132																																																																								
—	—	—	—	—	—	—	—																																																																								

1 基本的な  
事項  
  
本文 8 頁  
22 行目～46  
行目

表 1-2 (1) 市町村財政の状況(単位：千円)

区分	令和 2 年度	令和 3 年度
歳入総額 A	5,809,309	5,463,244
一般財源	3,229,146	3,296,431
国庫支出金	1,205,227	683,740
都道府県支出金	330,631	267,776
地方債	617,496	477,100
うち過疎債	423,700	113,300
その他	193,796	363,800
歳出総額 B	5,447,625	5,010,022
義務的経費	1,783,893	1,997,300
投資的経費	1,133,753	915,887
うち普通建設事業	894,186	915,887
その他	239,567	0
過疎対策事業費	1,002,545	1,259,536
歳入歳出差引額 C (A-B)	361,684	453,222
翌年度へ繰越すべき財源 D	39,197	83,763
実質収支 C-D	322,487	369,459
財政力指数	0.273	0.260
公債費負担比率	17.9	18.9
実質公債費比率	11.0	12.7
起債制限比率	6.7	8.5
経常収支比率	84.1	82.2
将来負担比率	77.7	41.8
地方債現在高	7,538,520	7,234,431

表 1-2 (1) 市町村財政の状況(単位：千円)

区分		
歳入総額 A		
一般財源		
国庫支出金		
都道府県支出金		
地方債		
うち過疎債		
その他		
歳出総額 B		
義務的経費		
投資的経費		
うち普通建設事業		
その他		
過疎対策事業費		
歳入歳出差引額 C (A-B)		
翌年度へ繰越すべき財源 D		
実質収支 C-D		
財政力指数		
公債費負担比率		
実質公債費比率		
起債制限比率		
経常収支比率		
将来負担比率		
地方債現在高		

追加

<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 9 頁 2 行目～18 行目</p>	<p>表 1-2(2) 主要公共施設等の整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和 2 年度末</th> <th>令和 3 年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改良率 (%)</td> <td>48.4</td> <td>48.4</td> </tr> <tr> <td>舗装率 (%)</td> <td>63.5</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>2,033</td> <td>2,033</td> </tr> <tr> <td>耕地 1ha 当り農道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>林道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>16,772</td> <td>16,772</td> </tr> <tr> <td>林野 1ha 当り林道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水道普及率 (%)</td> <td>49.9</td> <td>49.9</td> </tr> <tr> <td>水洗化率 (%)</td> <td>66.9</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>人口千人当り病院、診療所の病床 (床)</td> <td>24.3</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和 2 年度末	令和 3 年度末	市町村道			改良率 (%)	48.4	48.4	舗装率 (%)	63.5	63.5	農道			延長 (m)	2,033	2,033	耕地 1ha 当り農道			延長 (m)	—	—	林道			延長 (m)	16,772	16,772	林野 1ha 当り林道			延長 (m)	—	—	水道普及率 (%)	49.9	49.9	水洗化率 (%)	66.9	66.8	人口千人当り病院、診療所の病床 (床)	24.3	25.0	<p>表 1-2(2) 主要公共施設等の整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改良率 (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>舗装率 (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耕地 1ha 当り農道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>林道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>林野 1ha 当り林道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水道普及率 (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水洗化率 (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人口千人当り病院、診療所の病床 (床)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分			市町村道			改良率 (%)	—	—	舗装率 (%)	—	—	農道			延長 (m)	—	—	耕地 1ha 当り農道			延長 (m)	—	—	林道			延長 (m)	—	—	林野 1ha 当り林道			延長 (m)	—	—	水道普及率 (%)	—	—	水洗化率 (%)	—	—	人口千人当り病院、診療所の病床 (床)	—	—	<p>追加</p>
区分	令和 2 年度末	令和 3 年度末																																																																																											
市町村道																																																																																													
改良率 (%)	48.4	48.4																																																																																											
舗装率 (%)	63.5	63.5																																																																																											
農道																																																																																													
延長 (m)	2,033	2,033																																																																																											
耕地 1ha 当り農道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
林道																																																																																													
延長 (m)	16,772	16,772																																																																																											
林野 1ha 当り林道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
水道普及率 (%)	49.9	49.9																																																																																											
水洗化率 (%)	66.9	66.8																																																																																											
人口千人当り病院、診療所の病床 (床)	24.3	25.0																																																																																											
区分																																																																																													
市町村道																																																																																													
改良率 (%)	—	—																																																																																											
舗装率 (%)	—	—																																																																																											
農道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
耕地 1ha 当り農道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
林道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
林野 1ha 当り林道																																																																																													
延長 (m)	—	—																																																																																											
水道普及率 (%)	—	—																																																																																											
水洗化率 (%)	—	—																																																																																											
人口千人当り病院、診療所の病床 (床)	—	—																																																																																											
<p>1 基本的な事項</p> <p>本文 9 頁 25 行目、32 行目</p>	<p>(4) 地域の持続的発展基本方針</p> <p>ア 基本的な考え方</p> <p>昭和 30 年に平田村が誕生して以来、村では豊かな自然環境を活かしつつ、住みよい地域づくりを展開し、村道等の公共施設の整備、基幹産業である農業振興などが進んだ。</p> <p>しかし、昭和 40 年代以後の高度経済成長に伴い、若年層を中心とした人口減少、バブル経済の崩壊とそれに引き続く経済の長期停滞状況が地域産業等の伸び悩みとなり、雇用環境も厳しい状況となっている。若年層が少ない人口動態は、後継者不足などの問題としても表れた。</p> <p>こうした厳しい状況下では、今までにもまして、地域の特性に基づいた独自のむらづくりを定め、地域の資源や可能性を掘り起こ</p>	<p>(4) 地域の持続的発展基本方針</p> <p>ア 基本的な考え方</p> <p>昭和 30 年に平田村が誕生して以来、村では豊かな自然環境を活かしつつ、住みよい地域づくりを展開し、村道等の公共施設の整備、基幹産業である農業振興などが進んだ。</p> <p>しかし、昭和 40 年代以後の高度経済成長に伴い、若年層を中心とした人口減少、バブル経済の崩壊とそれに引き続く経済の長期停滞状況が地域産業等の伸び悩みとなり、雇用環境も厳しい状態となっている。若年層が少ない人口動態は、後継者不足などの問題としても表れた。</p> <p>こうした厳しい状況下では、今までにもまして、地域の特性に基づいた独自のむらづくりを定め、地域の資源や可能性を掘り起こ</p>	<p>文言訂正</p>																																																																																										

	<p>し、有効に活用していく地域力が必要である。</p> <p>このような現状を踏まえ「平田村過疎地域持続的発展計画」の策定にあたっては、「平田村総合計画」等の計画との整合性を考慮し、住民参加による行政運営、生活環境整備、産業振興、学校教育環境、福祉の向上及び増進などの諸事業を展開し、住みよく活力あるむらづくりを進めていく<u>こと</u>が必要である。</p>	<p>し、有効に活用していく地域力が必要である。</p> <p>このような現状を踏まえ「平田村過疎地域持続的発展計画」の策定にあたっては、「平田村総合計画」等の計画との整合性を考慮し、住民参加による行政運営、生活環境整備、産業振興、学校教育環境、福祉の向上及び増進などの諸事業を展開し、住みよく活力あるむらづくりを進めていく<u>が</u>必要である。</p>	文言訂正
<p>2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成</p> <p>本文 17 頁 12 行目</p>	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>ア 移住・定住</p> <p>平田村は自動車専用道路や二桁国道が村内を通っているため、県内の主要な地域へのアクセスが容易<u>であるが</u>、村内での就職先が限られており、収入面での魅力に乏しい部分がある。</p>	<p>(1) 現況と問題点</p> <p>ア 移住・定住</p> <p>平田村は自動車専用道路や二桁国道が村内を通っているため、県内の主要な地域へのアクセスが容易<u>です が</u>、村内での就職先が限られており、収入面での魅力に乏しい部分がある。</p>	文言訂正
<p>2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成</p> <p>本文 18 頁 32 行目～34 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画<u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u>の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画_____</p> <p>_____</p> <p>_____の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	追加

<p>3 産業の振興</p> <p>本文 24 頁 1 行目</p>	<p>(3) 計画 事業計画 (令和 3 年度～ 7 年度)</p> <table border="1" data-bbox="282 217 1106 424"> <thead> <tr> <th>事業名 (施設名)</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基盤整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業</td> <td>農業水利整備事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td>ふくしま森林再生事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	(1) 基盤整備				農業	農業水利整備事業	平田村		林業	ふくしま森林再生事業	平田村		<p>(3) 計画 事業計画 (令和 3 年度～ 7 年度)</p> <table border="1" data-bbox="1133 217 1957 424"> <thead> <tr> <th>事業名 (施設名)</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基盤整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td>ふくしま森林再生事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	(1) 基盤整備				_____	_____	_____		林業	ふくしま森林再生事業	平田村		<p>新規追加</p>
事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考																																
(1) 基盤整備																																			
農業	農業水利整備事業	平田村																																	
林業	ふくしま森林再生事業	平田村																																	
事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考																																
(1) 基盤整備																																			
_____	_____	_____																																	
林業	ふくしま森林再生事業	平田村																																	
<p>3 産業の振興</p> <p>本文 26 頁 2 行目～4 行目</p>	<p>(5) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(5) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>																																
<p>4 地域における情報化</p> <p>本文 27 頁 25 行目～27 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>																																
<p>5 交通施設の整備、交通手段の確保</p> <p>本文 29 頁 29 行目</p>	<p>イ 農林道 農林道については、村道に比べ改良率・舗装率とも低い状況にあり、まだまだ整備を必要とされる箇所が多く存在している。 _ 【産業建設課】</p>	<p>イ 農林道 農林道については、村道に比べ改良率・舗装率とも低い状況にあり、まだまだ整備を必要とされる箇所が多く存在している。 _。 【産業建設課】</p>	<p>1 字削除</p>																																





<p>7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進</p> <p>本文 41 頁 27 行目から 31 行目</p>	<p>(3) 計画 事業計画 (令和3年度～7年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (施設名)</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(8) 過疎地域 持続的発展 特別事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>乳幼児 _____ 医療 助成事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>子ども (小1～小3) 医療助成事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>子ども (小4～18歳以下に達する日以後の最初の3/31までの間にある者) 医療助成事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>放課後児童クラブ運営事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	(8) 過疎地域 持続的発展 特別事業				児童福祉	乳幼児 _____ 医療 助成事業	平田村		児童福祉	子ども (小1～小3) 医療助成事業	平田村		児童福祉	子ども (小4～18歳以下に達する日以後の最初の3/31までの間にある者) 医療助成事業	平田村		児童福祉	放課後児童クラブ運営事業	平田村		<p>(3) 計画 事業計画 (令和3年度～7年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (施設名)</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(8) 過疎地域 持続的発展特 別事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>乳幼児・子ども 医療費助成事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童福祉</td> <td>放課後児童クラブ運営事業</td> <td>平田村</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	(8) 過疎地域 持続的発展特 別事業				児童福祉	乳幼児・子ども 医療費助成事業	平田村		_____	_____	_____		_____	_____	_____		児童福祉	放課後児童クラブ運営事業	平田村		<p>文言訂正</p> <p>追加</p> <p>追加</p>
事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考																																																
(8) 過疎地域 持続的発展 特別事業																																																			
児童福祉	乳幼児 _____ 医療 助成事業	平田村																																																	
児童福祉	子ども (小1～小3) 医療助成事業	平田村																																																	
児童福祉	子ども (小4～18歳以下に達する日以後の最初の3/31までの間にある者) 医療助成事業	平田村																																																	
児童福祉	放課後児童クラブ運営事業	平田村																																																	
事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考																																																
(8) 過疎地域 持続的発展特 別事業																																																			
児童福祉	乳幼児・子ども 医療費助成事業	平田村																																																	
_____	_____	_____																																																	
_____	_____	_____																																																	
児童福祉	放課後児童クラブ運営事業	平田村																																																	
<p>7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進</p> <p>本文 42 頁 7 行目～9 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。1</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>																																																
<p>8 医療の確保</p> <p>本文 42 頁 34 行目～36 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合</p> <p>平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>																																																

<p>9 教育の振興 本文 45 頁 29 行目～31 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>
<p>10 集落の整備 本文 47 頁 3 行目～5 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>
<p>11 地域文化の振興等 本文 48 頁 6 行目～8 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。 <u>1</u></p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>
<p>12 再生可能エネルギーの利用促進 本文 49 頁 33 行目～35 行目</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 <u>(福祉施設編、集会施設編、教育施設編、観光・博物館等施設編、スポーツ施設編、役場施設編、公営住宅施設編、上下水道施設編、その他施設編、道路・橋梁施設編)</u> の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画等の整合 平田村公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画 _____ _____ の基本方針に基づき、整合性を図りながら、過疎対策に必要となる事業を適切に実施する。</p>	<p>追加</p>

事業計画（令和3年度～令和7年度）過疎地域持続的発展特別事業分  本文 54 頁 20 行目～21 行目、 27 行目～28 行目、 34 行目～37 行目	(3) 計画 事業計画（令和3年度～7年度）					(3) 計画 事業計画（令和3年度～7年度）					文言訂正   文言訂正   文言訂正
	持続的 発展施 策区分	事業名 (施設 名)	事業内容	実 施 主 体	備 考	持続的 発展施 策区分	事業名 (施設 名)	事業内容	実 施 主 体	備 考	
	6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	児童福祉	乳幼児_____医療__助成事業 ○具体的事業内容 医療費(入院時食事代含む)の無料化。	平 田 村	○事業の必要性 <u>乳幼児</u> に係る医療費の負担を軽減させ、経済的理由による少子化を避ける。 ○事業効果 略	6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	児童福祉	乳幼児・ <u>子ども</u> 医療 <u>費</u> 助成事業 ○具体的事業内容 医療費(入院時食事代含む)の無料化。	平 田 村	○事業の必要性 <u>子ども</u> に係る医療費の負担を軽減させ、経済的理由による少子化を避ける。 ○事業効果 略	
		児童福祉	_____子ども <u>(小1～小3)</u> 医療__助成事業 ○具体的事業内容 略	平 田 村	○事業の必要性 略 ○事業効果 略		児童福祉	<u>乳幼児・子ども</u> _____医療 <u>費</u> 助成事業 ○具体的事業内容 略	平 田 村	○事業の必要性 略 ○事業効果 略	
		_____子ども <u>(小4～18歳以下に達する日以後の最初の3/31までの間にある者)</u> 医療__助成事業 ○具体的事業内容 略	平 田 村	○事業の必要性 略 ○事業効果 略	児童福祉		<u>乳幼児・子ども</u> _____医療 <u>費</u> 助成事業 ○具体的事業内容 略	平 田 村	○事業の必要性 略 ○事業効果 略		